

## 会 議 録

### 1 会議名

令和4年度第3回板倉区地域協議会

### 2 議題（公開・非公開の別）

○協議事項

・令和4年度地域活動支援事業について（公開）

### 3 開催日時

令和4年5月26日（木）午後6時00分から午後7時50分まで

### 4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 市民活動室

### 5 傍聴人の数

0人

### 6 非公開の理由

—

### 7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委 員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、池田光男、小林政弘、植木節子、手塚哲夫、山本茂、西田節夫、下鳥治、田中睦夫、庄山健、秋山秀夫、長藤豊（一人欠席）
- ・事務局：板倉区総合事務所 古澤所長、米川次長（総務・地域振興グループ長兼務）、一藁次長、関根産業グループ長、市村市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、小池地域振興班長、橋詰主査、金井主任（以下グループ長はG長と表記）

### 8 発言の内容（要旨）

【米川次長】

- ・会議の開会を宣言

【平井会長】

- ・挨拶

【古澤総合事務所長】

- ・挨拶

【平井会長】

- ・条例第8条2項の規定により、半数以上の委員の出席を確認。会議の成立を報告。
- ・会議録の確認を長藤委員に依頼

4「協議」(1) 令和4年度地域活動支援事業について、事務局の説明を求め  
る。

【小池地域振興班長】

- ・資料1、資料2により説明。

事前に配布した質問及び回答一覧をご一読いただけたかと思うので回答について提案者からの補足を行っていただいた後に、再質問、質疑応答をお願いする。なお、質問によっては事務局が答えるべき内容もあるため、必要がある場合は事務局から回答させていただく。

今後の予定としては、本日の勉強会、ヒアリングをもとに採点表を作成し、5月31日までに事務局に提出いただき、事務局で集計後、6月2日に開催予定の第4回地域協議会で採択すべき事業の審査を行っていただく。

【平井会長】

事務局から説明があったが意見・質問等がある委員は挙手を求める。

(意見なし)

これより、地域活動支援事業の提案団体へのヒアリングを行う。先ほど事務局から説明があったが1事業あたり9分の予定となっている。時間が限られるため質問・説明は簡単をお願いしたい。

1番 ヨモギ文庫プロジェクト おやこでよみたい郷土絵本～中村十作ものがたり～事業について、ヨモギ文庫復活プロジェクトから事業について補足説明をお願いします。

【おやこでよみたい郷土絵本～中村十作ものがたり～事業 提案者】

かつて越後新潟、上越では、ヨモギ文庫という取り組みがあった。初夏から、夏休みにかけて、小学生がヨモギの葉を集め、学校に持っていき、乾燥し、お灸の原料のもぐさとして販売し、そのお金で学校図書館の本を購入するという、越後里山に伝わる取り組みである。この取り組みは、長岡米百俵の精神にも通ず

る、越後新潟の地元の野草を教育に変えるという素晴らしい取り組みを行ってきた。オリジナルの絵本、学校図書の寄付購入に充てるという取り組みである。

本作成には、イラストレーターのひぐちキミヨさんから絵を描いてもらうことに賛同いただき、小学校、図書館に寄贈する予定である。

私たちは、子どもが自然を愛する心を育む、そういったことでひいては里山を守ることに繋がる文化を目指している。

市内48か所の小学校、市内48か所放課後児童クラブ、図書館関連施設、教育機関に寄贈している。その中で、私たちが作った今お手元にあるヨモギ文庫という絵本、それと坂口謹一郎先生と前島密翁の絵本を作成してきた。その中で今後上越市の偉人として、私たちがぜひとも絵本にしたいと思っているのは、中村十作氏の功績を絵本にして語り継ぎたいと思っている。大和魂として祀られていると、私たちは宮古島では聞いている。歴史に功名をもたらした、大恩人として島を挙げて尊われているにも関わらず、上越市民の知らない現状を打破すべく、中村十作氏の偉業を取り上げるべきと考える。その絵本にたくさんの方が触れて、多くの方が関心を持ってもらうことで、地域の活性化に寄与したいと考えている。板倉区出身の中村十作氏の偉人としての功績を、子どもから大人まで楽しんでもらえる絵本にすることによって、この本を読んだ子どもたちが、文化や風土、偉人を知ることによって地域に誇りを持ち、最終的には上越の地域に戻ってくるきっかけのひとつの動機付けになればと考えている。さらに、今年は戦後沖縄県返還50周年記念の節目でもある。大きな節目において、今日まで戦前戦後の歴史を振り返り、先人たちの知恵を学び、上越市民、上越市板倉区と沖縄宮古島の歴史の関係性や文化等の魅力を実感してもらうきっかけになると考えている。

#### 【平井会長】

ただ今の説明について質問・意見等がある委員の挙手を求める。

#### 【小林委員】

中村十作については、板倉区内ではかなり長い間交流など企画されてきて、多くの関係で理解浸透されていると思うが、皆さんの方で知見を高めるために、実際に宮古島に出向いて価値観あるいはいろいろなご意見をお持ちの方もいらっしゃると思うが、訪問する予定はあるか。

**【おやこでよみたい郷土絵本～中村十作ものがたり～事業 提案者】**

宮古島に訪問する予定で考えている。

**【手塚委員】**

寺野玉手箱グループにおいても、平成30年に紙芝居で中村十作を作成したが、それが子どもたちを通じての色塗りとかそういうような形にしたが、表現のかたちはいろいろあっていいと思うが、完成したらぜひ見させていただきたい。

**【西田委員】**

ひとつ確認させてほしい。中村十作さんについては稲増に資料館があり、平成24年には中村十作のビデオ、DVDを作成して配布している。今回はこれを踏まえて作成するのか。

**【おやこでよみたい郷土絵本～中村十作ものがたり～事業 提案者】**

今ほど頂いたご意見を参考にたくさんの小学生、そして中学生、高校生たちに中村十作氏の魅力を広めたいと考えている。

**【植木委員】**

区内の小学校は2校しかないが、この100冊は小学校に人数割合で出すのか。文字が少し小さいと先ほどこちらでも話をしていたが、低学年向けなのか、中学校まで持ち上げて、小中というかたちで100冊を分けるという形の方が読み易いのかなと思った。私は見えて、とても参考になったので、知らないことが多いんだなあと感心した。

**【おやこでよみたい郷土絵本～中村十作ものがたり～事業 提案者】**

ご指摘どおり、文字の大きさや、ルビについても親子で読めるようにということで、ルビを付けないということも考えているのだが、その辺はまた協議して低学年、そして中学生も読めるような工夫を何かできればいいと思っている。

**【平井会長】**

1番 おやこでよみたい郷土絵本～中村十作ものがたり～事業については以上とする。

(提案者退室)

続いて2番 棚田ホタル火街道事業について補足説明をお願いする。

**【棚田ホタル火街道事業 提案者】**

昨年度採択いただき500個設置させてもらった。今年は1,000個お願いしたい。昨年度は要求させていただいた金額に対して、3割くらいカットされての採択だった。それで、中山間地の方では上関田の方まで延伸できなかったの  
で、その分を今年加えさせていただければと思っている。それから、少し新しい  
試みとして、昨年度の報告会の時に報告させていただいたが、獣からの被害を除  
去できたという地権者からの嬉しい誤算があって、今回はただ単に光るものでは  
なく、ライトアップができるソーラーライトがある。それで、例えばやすらぎ荘  
の芝桜の最盛期を今迎えているが、夜間の照明にそういったものを使うとか、や  
すらぎ荘の下の土手に咲いているあじさいのところの夜間のライトアップもでき  
ると思うので、ただ単に点灯ではなく、もう少し大きい光でライトアップできる  
ようなものも開発され、製品化されているので、そういったものを購入してやっ  
ていきたいと考えている。

**【平井会長】**

ただ今の説明について質問・意見等がある委員の挙手を求める。

**【庄山委員】**

設置する延長は昨年と同じ2kmで、埋め込み間隔が去年と違って今年は2m  
ということで1,000個欲しいということだが、去年510個買ったがそれは  
どうなるのか。

**【棚田ホテル火街道事業 提案者】**

同じように設置したいと考えている。昨年は2mではなく2m50cmでやっ  
てみたが、現場合合わせしてみたら2mの方が点が線に繋がっていくという意味で  
は距離的には2mが適切と考え、今年は2m間隔で設置したい。昨年の500個  
に合わせてということになり、延長的には約3kmくらいになる。

**【西田委員】**

報償費、土地借用者の謝礼金ということだが、これは去年5か所だったので5  
万円で今年は3か所で3万円ということだが、去年はこの5万円は減額されてい  
る。また、ライトは1,000個もいるのかと思っている。昨年のもものと合わせ  
て1,000個あればよいと思うがどうか。

**【棚田ホテル火街道事業 提案者】**

報償費だが、去年は地権者のご厚意で予算的には組み立てていたが、結局無償でいいという話だった。今年はエリアが広がる関係でどのくらい出るかは分からないが、3か所増えるので1か所あたり1万円という計算でお願いしたいと考えている。トータルで1,500個ということになるので、委員の仰るとおりそこまできているのかという話になるが、私たちの希望する数である。

**【西田委員】**

ライトをつけるのはいつからいつまでか。

**【棚田ホタル火街道事業 提案者】**

去年の例でいくと、7月の梅雨明けくらいから、稲刈りが始まるまでということで、中山間地の方はそういうかたちをとらせていただいた。そのあと、11月に板倉まちアートがあったので、それへの参加ということで、ふしんの里記念館の庭に設置した。それからやすらぎ荘については降雪期まで設置した。今年もそのように考えている。

**【西田委員】**

7月から9月頃まで設置をするということであれば、最初に付けたものを外して次のところにつければいいのではないか。数ばかり多くても、設置する人が大変になるのではないか。

**【棚田ホタル火街道事業 提案者】**

先ほど申し上げたように、数は金額に連動するものなので、私どもとしてはお願いする立場としての数字ととらえている。

**【庄山委員】**

破損数の補充と次年度以降の活動の見通しの中に記載してあるが、昨年破損したのはあるのか。

**【棚田ホタル火街道事業 提案者】**

3つほど破損した。

**【庄山委員】**

1年持たなかったということか。

**【棚田ホタル火街道事業 提案者】**

破損した原因は、撤収する際に誤って割ってしまったのが2件、1件は製品に

劣化があり、水が中に入ってしまったことにより使い物にならなかったというものである。

**【庄山委員】**

何が言いたいかという、1年で故障するとなると備品扱いになるのではないか。1年以上になると備品にはならないと思うが。その辺の考え方はどうなのか。

**【小池地域振興班長】**

この場合は消耗品扱いでよいと考える。

**【池田委員】**

獣除けになるという話も聞いている。実績があったか。

**【棚田ホテル火街道事業 提案者】**

地権者からそういうお話を直接いただいた。

**【平井会長】**

2番 棚田ホテル火街道事業については以上とする。

(提案者退室)

続いて3番 焼山城址文化遺産を次世代へつなぐ事業について補足説明をお願いする。

**【焼山城址文化遺産を次世代へつなぐ事業 提案者】**

本日は雨のために板倉区の花であるヤマツヅジを見ることができなかったとお聞きし、残念な思いでいる。ぜひ見ていただきたかった。質問票にのっとり説明をさせていただく。

1番目「今まで団体の活動を続けてこられたが、その活動の中で、今回計画されている様なパンフレットは作成されてこなかったのか」という問いについて、手作りで作成したが、人様にお見せできるような物ではなかったため簡潔明瞭に編集し一般にもわかりやすく小学校の総合授業にも活用できるように目指している。

2番目「次年度以降の活動は、すべて他の事業と連動させて考えられるということか」という問いについて、質問の「他の事業と連動」の意味が分からないが、特別出費を伴う項目は財源が無くできないので、その都度取捨選択し考える。例えば、観光面では過去に地域活動支援事業で採択を受けた郷土史愛好会、板倉おもてなし

の会、宮島地区連絡協議会、ゑしんの里観光公社とは現在も密接に連携しており、今後も継続していく、

3番「次年度以降の維持管理の自主財源確保の考えはあるか」との問いについては、従来どおり曾根田町内会の年間地域活性化助成金5万円いただいているので、その範囲内での活動が継続する。

4番「雑木の刈払作業には会員も参加するのか。」という問いについて、チェーンソーの使用もあり危険が伴うので業者に一任したい。勿論、会員の立ち合いは行う。

5番「パンフレットボックスは会員で取り付けできないのか」という問いについては、現場合わせもあるようなので業者に任せる。

6番「パンフレット2, 500部で何年持つ見込みか」という問いについて、内容が経年劣化しないように史実を中心に作成するので10年くらいのスパンで考えている。ちなみに最近の例としては、令和元年度に作成した宮島地区連絡協議会の「地域お宝マップ」というものを1,000部作成したが、残り100部になっている。来週また板倉小学校の授業で30部使うということではほとんど在庫が無い状態であるということもあり、2,500部作成すれば10年間位は持つのではと考えている。

7番「提案書に長期計画を明記されたか」という問いについて地域活動支援事業が廃止になるということで、謙信公祭の狼煙上げ参加団体も今後参加が不透明であることが予想されるため、現時点は提案書には明記しなかった。基本的には現状維持を考えざるを得ない。ちなみに狼煙上げについては、我々が参加した14年位前は20数団体参加していたが、令和元年度は16団体、令和2年度は9団体、令和3年度は11団体とコロナの影響もあるが団体が減っている。また、山城は上越市内で56か所、板倉区内で4か所である。

8番「観光資源として訪れる人々は少ないと思われるが、重要な文化遺産としての位置づけを教えてほしい」という問いについて、市長方針の通年観光の重点項目に春日山城址が含まれており、それを取り巻く各支城跡が重要な文化遺産の位置づけと考えている。ちなみに全国で山城は4万か所あるが、狼煙上げを観光の目玉としているのは上越市だけである。文化財的価値がありもっとPRすべきであり、地域活性化活動のシンボルとして位置づけ、焼山城址の環境整備を進めてきた。その



結果としてこのたび地域の宝に認定されたと考えている。

**【平井会長】**

ただ今の説明について質問・意見等がある委員の挙手を求める。

**【庄山委員】**

来年の5月下旬にウォーキングツアーを予定しているということだが、今年はしなかったのか。

**【焼山城址文化遺産を次世代へつなぐ事業 提案者】**

今年は刈払いを地域活動支援事業の採択を受けた後行うので、今のこの時期がヤマツツジが満開なので見ていただきたいことから、来年のこの時期に行うということである。

**【池田委員】**

本当にこれは重要なものなのか。ただ狼煙上げが始まったからではないか。私が小さい頃はあまり聞いたことがなかった。私の勉強不足かもしれないが。別所山の方に入ったことがあるが大きい石があったりして山城みたいだったが、こちらの方は何もないような感じがして、お金を出してまでやるのか疑問に思った。

**【焼山城址文化遺産を次世代へつなぐ事業 提案者】**

昨年、頸城区の公民館の方が箕冠城址に視察に来られ案内したが、箕冠山の頂上に来た時に、素晴らしいと非常に感動しておられた。こんないい城があるのに全然知らなかった。板倉の人は何をやっているのかと言われた。だから山城というのは地味な存在なのかもしれないし、活動に労力がかかるが理解してもらいたい。

**【平井会長】**

3番 焼山城址文化遺産を次世代へつなぐ事業については以上とする。

(提案者退室)

続いて4番 栗沢桜の里づくり事業について補足説明をお願いする。

**【栗沢桜の里づくり事業 提案者】**

過去に敷砂利については支援をいただいた経緯があるが、その後年数等も経過しており遊歩道の痛みもひどい。それから、450mくらいの遊歩道について、当初から計画があり、これについてはまだ3分の1ほど未整備になっているの

で、そちらの方の支援をお願いしたい。この間、会員による敷砂利等も何とか行ってきたのでよろしくをお願いしたい。それから、駐車場の敷砂利の件だが、これについては耕作放棄地ということで2年ほど前から会員による造成を行ってきたが、やっと形だけは整ったので、皆さんから安心して、桜や卯の花を鑑賞していただけるような駐車場をお願いしたいということで今回提案させていただいた。これについては、今コロナの終息が見えないので、とりあえず上越妙高駅で3年ほど前から卯の花の展示を行っている。今回も6月1日から10日の予定で展示をしたいと考えているので、みなさんぜひ足を運んでいただければと思う。

**【平井会長】**

ただ今の説明について質問・意見等がある委員の挙手を求める。

**【長藤委員】**

質問ではないが、質問及び回答の4番目、中山間地域直接支払、多面的機能支払交付金という観点というのがあるが、これに少し誤りがあるので私の方で修正させていただく。中山間地直接支払の方は栗沢の半分しか参加していないというのは事実だが、多面的機能支払の方は移住されてきた方を除き全戸入っているので、ここは実情と合っていない。ただ、現地は農道及び農地ではないので多面的機能支払の中でそこを対応するのは不可能である。

**【庄山委員】**

砂利を敷く道路は農道と林道ではないということか。では何か。

**【栗沢桜の里づくり事業 提案者】**

公園内の遊歩道兼車の通行道路である。

**【庄山委員】**

遊歩道という道路はあるのか。

**【栗沢桜の里づくり事業 提案者】**

一般的に使われている名前を付けた。深い意味はない。車なり歩いてその道を使っていただきたいということで設けた。また、今はだいぶ整備しているが、当時は未整備であったので、どうしても車を通す必要があったので、当時からそういう計画で450mくらいの計画を持って少しずつ整備してきた。

**【平井会長】**

市道でなくて私道か。

**【栗沢桜の里づくり事業 提案者】**

公園内の私道である。

**【平井会長】**

他にないか。

**【西田委員】**

今回のものではないが、昨年トイレを作ったが、パノラマ街道が通るから、利用していただくとしたのに、そこにはトイレの案内看板が出ていない。そこまでやらないとパノラマ街道に来た人には分からない。その点について考えを聞かせて欲しい。

**【栗沢桜の里づくり事業 提案者】**

市で作った集落入口の農村公園のトイレは現在使用できない。もし、これから市からご理解をいただきそのトイレが復活となればそれは別問題になると思う。私たち会員がもし市のトイレを使おうとしたら、そちらへ来るまでにややもすると粗相をしてしまうことも十分考えられるし、また、体の不自由な子どもたち、大人もそうだが、そういう人たちに大勢来ていただきたいという思いもあるので去年はお願いした。

**【小林委員】**

今まで約230万円という補助をしてきたわけだが、自己資金とかビジョンというものをしっかり持って当たるべきだと私は個人的には思うが、自己資金はどのように考えているか。これから、もし来年度以降支援されなかった場合どのようなかたちをとろうとしているのか。毎年、経年劣化でこういうのは変化していく、自然のかたちであるため、その辺の考えについて教えていただきたい。

**【栗沢桜の里づくり事業 提案者】**

今のところは、オーナー制で運営しているのでオーナーからの協力、それから企業からご理解をもらい、お願いしていきたいと考えている。草刈り等の作業についても、しっかり見直すところは見直して、進んで行きたいと思っている。

**【平井会長】**

4番 栗沢桜の里づくり事業については以上とする。

(提案者退室)

続いて5番 板倉区の「ゆるキャラ」プロモーション事業について補足説明をお願いする。

**【板倉区の「ゆるキャラ」プロモーション事業 提案者】**

手元に配布したまちづくり通信であるが、3月の報告会では皆さんにゆるキャラを披露することができなかつたので、すでにご承知だとは思いますが、改めて今日この場で披露させていただこうと思っている。昨年度に採択いただいたゆるキャラ事業については、板倉の色々な良いところを情報発信していこう、地域活性化のためにそういったキャラクターをデザインし、活躍していただくということで採択していただいた。それに対し、まだデザインだけで令和3年度は終わっているのですが、令和4年度については、ぜひこの新しいキャラクター「いたくらけいと」に活躍をしてもらい、地域の良さをもっとPRしてもらおう。それから、地域の皆さんが元気になるようなそういった事業のひとつのツールとして活用していただくということで、令和4年度については事業申請をしたところである。詳細については、すでに皆さんのところにご案内をいただいているので、概略を申し上げますと、今年度についてはまずは「いたくらけいと」を地域の方々に愛してもらい、幅広く知ってもらおうということを目的にプロモーション活動を展開したい。まずは露出を高めていくというところで考えている。一つは、昨年青少年育成会の会議の協力をいただいて、小学生、中学生に協力してもらい、このデザインに至ったわけなので、それのお披露目も兼ねて幅広く市内、区内に走ってもらおうということで、通園バスやスクールバスのラッピングで「いたくらけいと」を周知して、PRしていこうというところが一つ。

二つ目は、お手元にまちづくり通信となっているが、それを「けいとタイムス」と次号から名前を変えて、もっともっと地域の小さな情報を幅広く地域の皆さんに知っていただくということで、そういった通信ツールに変えていこうと考えている。

あわせて、今検討中であるが、まちづくり振興会のHP、今検討中であるが、そういったところの掲載で情報を発信するキャラクターとしてこの「いたくらけいと」をつかうなど、それから、ゑしんの里観光公社のHPや、やすらぎ荘のH

P等にも顔を出して、その良さをけいとが代弁していくということで、私よりも「いたくらけいと」が喋った方が情報の発信力があるかにあると思っているので、そういった使い方で地域の方々に馴染んでもらって、親しんでいただいて、愛していただくと考えている。

それから、もう一つは自主財源でイメージしているが、小さなぬいぐるみあるいはキーホルダーとか、Tシャツは今デザインを考えているが、Tシャツ等作ったりして、まつりのときにスタッフがけいとのTシャツを着ていくとか、あるいは子どもたちが何かやるときに、みんなけいとのTシャツを着ているとか、そういった姿を想像しながら、これから「いたくらけいと」を地域の愛されるキャラクターとして、どんどん育てていきたい。それから、地域の皆さんに育てていただく。そんな活動を令和4年度は目指していきたい。

**【平井会長】**

ただ今の説明について質問・意見等がある委員の挙手を求める。

**【庄山委員】**

事業の長期計画もきちんとされていていいと思っている。今後更にご活躍を期待したい。色々考えていただいて、様々なことをやっていただきたい。

**【田中委員】**

昨年から取り組んでいただいて、いい作品になったと思っている。できたら着ぐるみの作成は財源の確保が別と書いてあるが、早めに作成し大いにPRしていったらいい。ただ、ふれあいまつり等で着用となっているが、前に地域活動支援事業を活用し法被を作ったばかりなので、法被は法被として、この「いたくらけいと」は違う意味での活用をしていければさらによくなるのかなと思う。ぜひその辺の企画を頑張ってもらいたい。

**【板倉区の「ゆるキャラ」プロモーション事業 提案者】**

着ぐるみは、非常にお金がかかる。1体約100万円かかる。正副で2体作ると200万円となる。まず、その財源をどうするかというところからスタートしなければいけない。「いたくらけいと」が有名になって稼いでくれればそういった財源もおそらくできると思う。皆さんのけいとの愛し方、支援の仕方で今後の将来がかかってくると考えている。

それから、商標登録の件について、商標登録も本当はした方がいいという話もあるが、商標分類というのが非常に物を売るときに色々な分類があり、1つ登録するのに約6万円かかる。印紙代が1万2千円かかり、かつ、弁理士に払うお金が約8万円かかるので、モノを売るとかPRしていく商標を守ろうとすると、最低5個くらい登録しないといけないが、そうすると先生のところへ払うのも含めると約40万円かかってしまうということで、そういうお金もあるので今後商標登録についても色々検討はしていくが、なるべくお金をかけずにけいとに稼いでもらおうと思っているので、知恵があったら、いいアイデア等いただければと思っている。

**【長藤委員】**

ラッピングバスの見積に関して、最終的にコンペ方式でやるというので問題無いかと思うが、通園バスとスクールバスについて2社見積を取ってあるが、条件は同じ内容が伝わっているのか気になった。

**【板倉区の「ゆるキャラ」プロモーション事業 提案者】**

2社には条件は全く同じものを提示してあるので問題ない。今後、詳細をつめながら安くてもいいものができる業者に決める。

**【平井会長】**

5番 板倉区の「ゆるキャラ」プロモーション事業については以上とする。

(提案者退室)

続いて6番 芝桜とこいのぼり・春の競演事業について補足説明をお願いする。

**【芝桜とこいのぼり・春の競演事業 提案者】**

今回提案した事業は、既存のこいのぼり、大変名所スポットとなりつつあるが、こいのぼりとこいのぼりの間隔が開いている。場所が分断されているような感じがしたので、それをつなげる意味でワンラインと、もう一つ川沿いにもう一つ高い視点のこいのぼりを上げれば、また名所として確立するのではないかと思います。いまして今回提案させていただきました。

本年度、芝桜を去年植え替えた場所がまだ未熟なために、今日時点では数えた人数で約6,000人、入場しなかったお客さんを含めると約8,000人来ら

れたのではないかと思っている。芝桜の見頃はピンクが1週間でだいたい前後2週間は集客できると考えるが、その前後咲いていない時期にこいのぼりが上がっていることによって、確実に4月下旬から5月下旬までの集客を担保できるということで、今回こいのぼりの数を増やすことで提案した。

今日ご覧になって、想像していただければわかると思うが、あそこにまた新たなラインが引かれ、こいのぼりが上がっていることを想像していただければいいかなと思う。

**【平井会長】**

ただ今の説明について質問・意見等がある委員の挙手を求める。

**【田中委員】**

事前の質問事項に載せなかったが、やすらぎ荘の社長と我々部会の方も含めて、3回ほど意見交換をさせていただいている。その中で再三にわたって我々が提案しているのが、周遊ルートを作ってやすらぎ荘が単独の行動をとるのではなく、栗沢の桜、玄藤寺のあやめとか単体で行動で事業提案するのではなく、やすらぎ荘への集客、それから帰りに昼食なり、休憩してもらえれば金が落ちるかなというところで、板倉の中のいいところの周遊ルートを作って、こういう中の提案をしたらどうですかというのを我々部会の方も再三社長へ提案しているが、今回また単独で出てきた。この辺については提案者は聞いているか。

**【芝桜とこいのぼり・春の競演事業 提案者】**

理解はあるが、それはやすらぎ荘の営業に関することであって、これはあくまでみどりやすらぎグループとして提案している事業である。もちろんそういったことは必要だと思うので、やすらぎ荘の方で議論したいと思うし、集客、周辺の観光、あやめや栗沢の方も含めて、お客様の方に提案させていただきたいと思っている。

**【田中委員】**

やすらぎ荘単独の話は結構だが、そういう風にしないと、せつかくの地域活動支援事業を活用するときに、やすらぎ荘の集客にも繋がりますよということで、今回提案に出ている、栗沢桜の里とか丈ヶ山の登山も含めて、そういう人たちを巻き込んでという話を我々部会としても話をしているのがこういう中にも活用されているのかというところを聞きたかった。

**【芝桜とこいのぼり・春の競演事業 提案者】**

あくまで地元の営利団体ではないグループの提案なので、やすらぎ荘として意見が必要でしたら、私がやすらぎ荘としてここに来るが、ちょっと違うのではないかと思います。

**【植木委員】**

なんでこいのぼりで集客しているのか。田中委員も仰るとおり全体的にやすらぎ荘を盛り上げようという形でこいのぼりがあるのかと思っていた。でも話を聞いていると、正直お雛様とか、こいのぼりは季節ものである。あまりだらしなく出していると色々イメージが悪い。汚れたものを泳がせておいて、何かいいことあるのかなと、私は常々思っている。皆さんいかがか。

**【芝桜とこいのぼり・春の競演事業 提案者】**

今日来られて、昨日すごく風が強かったのでだらしなく見えたと思うが、毎日朝必ず直している。風が少し強いときは無理だが、綺麗に見えるようにロープはほどいて、すごい力があるのだが私一人で頑張っている。

こいのぼりに執着するのが、他の地域でもこいのぼり、桑取や能生と差別化するために、どうしても数の勝負になってくる。数が多いとすごいという風になってくる。メディアなどに取り上げられやすいので、提案させていただいている。先ほど話したように、時期が必ずずれないでそこに行けばあるという、花と違って、それを補うためのこいのぼりでもある。こいのぼりのポールだが、他のイベントに使えないかと考えているが、新たなものを作るとしたら七夕の吹き流し、材料などを見ても1か月上げるのに耐えられるものがないので、作るとしたらオーダーになると思うが、そういうのにも活用できて、アジサイと七夕とそれに時期のものを新たに作りだすのにも役立つと思っている。

**【小林委員】**

魅力発信のために、差別化するためにそういうことをしているということは素晴らしいと思う。

ただ、先ほど田中委員が言ったように、我々とすれば色々な観光施設の相乗効果、経済効果のアップをお願いしたい。だからもっとやすらぎ荘と連携を深めていただけるよう、協議の方きちっと同じ考えで同じ思いを持って取り組んでいた



だけるようお願いしたい。

**【池田委員】**

春のイベントしか分からない。年間通して、春夏秋冬と目玉を作って活動してもらいたいと思う。柱を立てることを否定するわけではないが、ここばかり集客して後は集客できない状況ではうまくないと思う。ぜひ、夏のもの、秋のもの、冬のもの目玉を作ってもらいたい。

**【平井会長】**

6番 芝桜とこいのぼり・春の競演事業については以上とする。

(提案者退室)

続いて7番 「不思議板倉郷-山の不思議」事業について補足説明をお願いする。

**【「不思議板倉郷-山の不思議」事業 提案者】**

一昨年に、この前号の冊子を作らせていただいた。中心になったのが、恵心尼についてのことを半分くらい書かせていただいた。今回それを引き継いで、丈ヶ山とか京ヶ岳の方とか、人柱の方をもうちょっと詳しく書きたいという方がいらっしゃり、今回また応募させていただいた。ここにあるように、冊子にして皆さんに配るということで、ちょっと不思議なこととかを提供することで、地元愛が一層深まって、もっとこの辺を調べてみようというようなかたちを作れたらいいなということとともに、最近の観光事業じゃないが、外に発信するということでは、こういうようなもので板倉の丈ヶ山などをもう少し外に出していきたいという思いで今回参加させていただいた。

**【平井会長】**

ただ今の説明について質問・意見等がある委員の挙手を求める。

**【庄山委員】**

令和2年に今昔説話集を発行されたが、その成果はあったか。

**【「不思議板倉郷-山の不思議」事業 提案者】**

冊子のほとんどはもう手元にないほど出てしまった。色々なところで配られていて、おおむね評判はいいと聞いている。

**【平井会長】**

7番 「不思議板倉郷-山の不思議」事業については以上とする。

(提案者退室)

続いて8番 光ヶ原高原再活用事業について補足説明をお願いする。

**【光ヶ原高原再活用事業 提案者】**

6月末のキャンプ場のオープンに向けて今現在細部を詰めている段階で、光ヶ原高原キャンプ場の魅力は何でしょうかという、毎年利用するキャンパーに聞いたところ、標高1,000m級の高地にあるキャンプ場というのは全国的にもそこまで多くない。標高が高いので、星空や夜景の美しさはほかのキャンプ場と比べ何とも言えない興奮を覚えるとともに、虜になっていると聞いた。私は、現地でも実際キャンプをしている方々に聞いた話でもあるし、電話で聞いた話でもある。

この両方を満たすことのできる、光ヶ原のキャンプ場ということになると、提案書にも記載してあるが、キャンプ場の施設内の導線にある展望台になる。ぜひ、展望台を光ヶ原のランドマーク的な存在として、また記念撮影の背景として、できればもう少し化粧直しをしてもらいたいとの要望も出てきた。そういうこともあり、提案書に私の方で口頭で加えさせていただき、皆さんの今後の審議の中で判断していただければ大変ありがたいと思っている。

また、その他の要望については、今後ファンクラブの財政等を考慮しつつ、逐一改善していければいいと考えている。

**【平井会長】**

ただ今の説明について質問・意見等がある委員の挙手を求める。

**【長藤委員】**

今回の事業の内容とは少しずれるかもしれないが、去年の暮れにインターネットで光ヶ原に関するものを見ていたが、信越トレイルの関係で来られた方が、降雪前だったが光ヶ原のキャンプ場を利用してそこで一泊しようとされたところ、すでに市の管理上で閉まっていた、信越トレイルの事務局と連絡を取って、どこかに宿泊されたというようなものを見たが、そのようなときにファンクラブにも連絡が入り、何か対応ができることができればいいと考えるがどうか。

**【光ヶ原高原再活用事業 提案者】**

いままでもそういう話があったと聞いている。ケガとか緊急的なものもあった

と思う。緊急的な面で今まで一番懸念だったものが、携帯電話の電波状況が非常に厳しいと話だったが、私どもで色々なメーカーのものを持ちこんで、光ヶ原で実証実験をやった。a uだけがかなり電波がいいというかたちで、この点が改善されたので、実は今日も光ヶ原へ上がったが、私どもに協力してくれる企業も出てきているのでそういう方々と一緒に今日上がった。たまたま、皆さんご存じかもしれないが、昨日県道上越飯山線が全線開通した。ということで上まで行ったが、キャンプ場には一部残雪があり、今の予定では6月の中旬過ぎ、25日頃オープンしたいと思っている。それと、長藤委員のご質問に答えるが、昨年私も直接行って、信越トレイルの事務所との連携をしようという形の中で、まず信越トレイルからくるお客さんは光ヶ原に来るにしても、信越トレイルを通じて受付をしていただいて、それで来るという形を考えている。私どもの方で受付するのはあくまでも下から上がって来るお客様という形とした方が現実的ではないかという話になっている。この春も信越トレイルから事務局長が来ていただいて、色々話をして連携を、イベントを共同開催というかたちで1回目は光ヶ原でやろうというかたちで進めている。色々な部分で今後長野県と飯山市と上越市の連携がさらに進んで行けば、私どもがその切り口になればいいなという考えをしているので、皆様からもご協力をお願いしたい。

**【平井会長】**

8番 光ヶ原高原再活用事業については以上とする。

(提案者退室)

続いて9番 高野地区情報整備事業について説明をお願いする。

**【高野地区情報整備事業 提案者】**

補足説明は特にない。

**【平井会長】**

補足説明はないということだが、質問・意見等がある委員の挙手を求める。

**【長藤委員】**

質問の回答について、今までテレビはあるが使っていなかったというようにとれる。そこで、今回JCVを使って事業を進めることを考えているということだが、JCVということはケーブルビジョンのため、ケーブル経由で通常皆さんが見てい

のような地上波等がそのまま見ることができる状態には最低限なって、プラス情報という形で考えたときに、光テレビというのは全く別物である。逆に言うと娯楽用というのか、通常の地上波とは違うものになる。その辺をこの提案に入れられること自体がちょっとピンとこなかった。J C V側はセットでそれしか考えていないのかもしれないが、何か違うような気がしてしょうがない。それと、光電話もN T Tから変えることによって、そこから連絡しようとしたときに、電話をかけたはずが受けてくれないというような可能性もあるし、この光テレビ光電話に関してはちょっと違うような気がして仕方がないがいかがか。

**【高野地区情報整備事業 提案者】**

光テレビというのは、普通のテレビ、今のデジタルテレビである。今のテレビが昭和49年に入ったもので、昔のテレビは今は映らない。集会所で例えばインターネットで説明するという状況が会議の中であるが、ニーズが結構多いもので、そういうときにモニターとして使いたい。それで、光テレビのセットのことを考えている。ついでに入れられるということ。

もう一つの光電話の方も、今年額3万5千円くらい払っているが、ほとんど使わない。ただそれが光電話だとほぼ0円に近くなる。それで、それを3個セットで、200メガのタイプのインターネットの契約で、それを入れることによって、例えば会議などでモニターに映し出しながら説明できる。日々の、毎月の送られてくる資料とかが多いので、検討するにもコピーもろくにできない状況で、説明するだけでも大変なので、それぐらいをモニターで見ておけば、あるいはパソコンで取りながらモニターに映し出すようなことの使い方を考えている。

**【長藤委員】**

当然この見積もりを見させてもらうと、モニターとして利用するのが主とするのは分かる。それとして使うものは、単なるモニターではなくて、俗にいうテレビの機能付きのものを購入されるということで、それは当然あって問題ないとは思いますが、光テレビとなると、これはあくまでもネット上の契約自体は別のものを、色々なところと契約して、その情報を見れるようにするものであるから、何か違うのではないかと思う。

**【高野地区情報整備事業 提案者】**

契約の中で、光テレビという表現がされているが、普通のデータテレビということでご理解いただきたい。要するに、光テレビのケーブルを使って光で入れてくるというだけのことである。いわゆる、ファイダー線である。

**【長藤委員】**

そういうことなら分かった。J C Vがそういう表現をしているだけということか。世間一般的にいう光テレビとはまるっきり違うということか。

**【高野地区情報整備事業 提案者】**

セットで契約できるようになっていたの、それで安価に入手できるのであればよいかと思った。

**【池田委員】**

これは、町内会でお金を出すことはできないのか。町内会で出す問題ではないのか。

**【高野地区情報整備事業 提案者】**

そう思われているのであればそういう傾向にあるかもしれないが、金額が結構大きくなるのと、色々なことに使えるということと、インターネットを個人で使うというのは、町内の仕事を個人のパソコンを使うというのが少し大変である。例えば、今こういう発言をするにしても、例えばパソコンひとつ入れるにしても、そういった環境があれば地区の人達が使えるということがある。当然、W i - F i 等も使えるようになる。それが個人で設定して、個人のおかげでできるみたいなことでは、そういった意味では公民館みたいなのところに置いてある部分では、公的な部分が多いので、町内会のところに置きたいということである。

**【池田委員】**

受益者負担でやるべきだ。使う人でみんなで費用を割って。そういうようにやればいいのではないか。

**【高野地区情報整備事業 提案者】**

そういわれるとそうだが、公的な部分なので、全員で割るというのもどうかと思う。例えば大量のデータがあって、それをいちいち報告するのも自分のパソコンを常々使っていて非常に変なことになっている。そういうことで何とか支援していただきたい。

**【平井会長】**

9番 高野地区情報整備事業については以上とする。

(提案者退室)

続いて10番 地域に残る偉人の紙芝居作成事業について説明をお願いします。

**【地域に残る偉人の紙芝居作成事業 提案者】**

補足説明は特にない。

**【平井会長】**

補足説明はないということだが、質問・意見等がある委員の挙手を求める。

**【下鳥委員】**

11の地域活動支援事業提案の中で、この事業展開だけが自分たちプラス子どもたちを取り込む、あるいは協力して物を作り上げるというのは、この事業提案しかない。素晴らしいことだと思う。まず子供たちと一緒に作って、それを外に持って、あとは祭りやカフェで披露する。これはすごいことだと私は思う。板倉の魅力、歴史、文化を作り続けていっていただきたいと思う。最後に百体観音の件についてどのような考え方でいるのか、ここでは少し読み取れないので、教えていただきたい。

**【地域に残る偉人の紙芝居作成事業 提案者】**

百体観音については、正直私も存在は知っていたが、ほとんど見に行く機会がなく、この間、個人的に一回、またグループで一度見に行ってみようということでも一回確認をしに行った。そこに纏わる話とか深くまで追求できていない。なぜ百体だったのか、どこから持ってこられたのか、そういったところも本当に外側だけしか勉強していないので、作るときにもっと深く勉強しようと思っている。分かる方、そういった情報を持っている方にぜひ提供していただき、私どもの方で、もしくは、こちらに招いて寺野地区と一緒に勉強から始めたいと思っているので、まだ勉強不足でそれ以上のお答えができないがそのような予定でいる。

**【下鳥委員】**

それでいいと思う。どんどん歴史文化というのは希薄になっていく。なるべく早く動いていただけるとありがたい。よろしくをお願いしたい。

**【庄山委員】**

広報の仕方として、平成16年から紙芝居をCD化して上映を実施したと書いて

あるが、板倉ふれあいまつりでやったのか。来年度以降にそういうことを考えているのか。

**【地域に残る偉人の紙芝居作成事業 提案者】**

この2年間、コロナのため活動ができていないが、その前は板倉ふれあいまつりでも上演させていただいたことがあるし、地区外に呼んでいただいて、毎年定期的に新井の砂防公園で夏にイベントがあるので、そこで毎年上演させていただいたり、定期的にお声がけいただいているというところも結構あった。ただ、イベントそのものができなくなったこの2年間なので、逆に結構うずうずしているの、イベントごとがあればぜひ行って上演したいと考えている。

**【西田委員】**

増村朴斎の紙芝居を作るということだが、よく分からないことがあったら、板倉町史を見てほしい。きちんと載っている。そこから勉強してみたい。

**【平井会長】**

10番 地域に残る偉人の紙芝居作成事業については以上とする。

(提案者退室)

続いて11番 健康ウォークで体力づくり及び山寺三千坊の観光開発に係る事業について説明をお願いします。

**【健康ウォークで体力づくり及び山寺三千坊の観光開発に係る事業 提案者】**

先日、山寺薬師の仏像の信者の子孫という新潟市内に在住されている方が訪ねて来られた。猿供養寺と筒方コースについてはほぼ完成したが、聖の窟の方からの登山道は上級コースであり、岩盤があり鉄の鎖を50メートルくらい付けないといけないので素人には整備できないのが今後の課題である。

**【庄山委員】**

昨年の事業のとき、私は反対した。登山コースに砂利を引くのはどうかと思ったが、今回、登山道の整備のために砂利を引くという話だ。この道は人も通らないような道で、中山間地支援事業や多面的機能では対応できないのでやむを得ないと考えている。

**【長藤委員】**

見積書が東山寺地内となっているが筒方地内ではないのか。筒方町内会には了解

を得ているか。

**【健康ウォークで体力づくり及び山寺三千坊の観光開発に係る事業 提案者】**

見積書が間違っていた。筒方地内である。植林するときに作った道で共同で作った道路だと思う。地権者や付近の人に話しているので心配ない。

**【長藤委員】**

聖の窟の方の道は大変なところと承知している。私は聖の窟保存会の会長をしているので、今後も協力したいと考えている。

**【平井会長】**

1 1 番 健康ウォークで体力づくり及び山寺三千坊の観光開発に係る事業については以上とする。全てのヒアリングが終了した。

(1) 令和4年度地域活動支援事業については以上とする。

次に5 その他に移る。事務局から何かないか。

**【金井主任】**

公共交通について報告する。板倉地区公共交通懇話会には、地域協議会からは古川副会長から委員になっていただいている。

昨年11月の板倉地区公共交通懇話会で、島田線の上越妙高駅への乗り入れ試験運行について、観光需要の増加と地域住民の利便性向上を目的に令和4年8月の土日及び祝日に試験的に運行することが決定した。この決定を踏まえ、4月に試験運行時の路線ルートと時刻表の変更などについて、書面協議を行い承認された。路線については、島田線の正規のバスルートに加え、岡原バス停から上越妙高駅までを折り返すルートになる。また、時刻表については、北陸新幹線の発着時間にあわせ一部変更になる。

5月20日に第1回上越市地域公共交通活性化協議会が開催され、内容について承認されたことから正式に実施することとなった。

詳しい内容については、今後住民の皆さんへお知らせしていく。

**【平井会長】**

・ 次回の地域協議会の日程等について確認

**【古川副会長】**

・ 挨拶



【米川次長】

以上で、第3回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL：0255-78-2141（内線123）

MAIL：[itakura-ku@city.joetsu.lg.jp](mailto:itakura-ku@city.joetsu.lg.jp)

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。